



にんげん こえ で
人間の声が出るのはなぜ

こえ
声は、のどのおくにある声帯で出している

こえ
声は、のどのおくにある声帯という膜を、息でふるわせて出しています。

この声帯で生まれた音が、のどから口や鼻を通して外に出るまでに変化し、声になって出てくるのです。

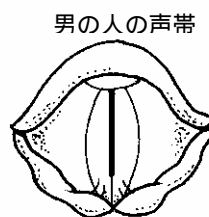
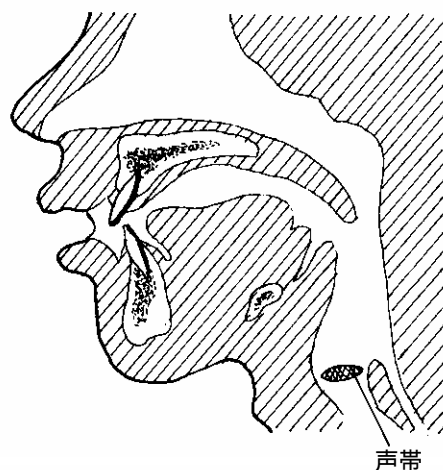
声帯は2枚の膜のようなもので、内部には筋肉も入っており、空気が通るときには開き、声を出すときにはぴったりと閉じて、その細いすき間から空気が出るために、音が出ます。

にんげん こえ
人間の声がみんなちがうのは

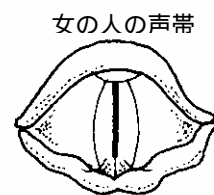
せいたい で おと
声帯から出る音は、のど・口・鼻の形や、
からだぜんたい おお か
体全体の大きさによって変わってきます。

たとえば、似たような楽器でも、その大きさや細かな形のちがいで、少しずつ出る音がちがいます。声も、これと同じことなのです。

人間は、一人ひとり、体の大きさや形がちがいます。声を出すための、声帯の形や長さがちがうだけでなく、声帯でできた声をひびかせる、のどのおくの形や、声が出てくる、口や鼻の大きさや形が、みんなちがっています。そのため、一人ひとりの声が、みんなちがってくるのです。（監修・保志 宏）



(長い)



(短い)

